



WEC 前戦で LMGT3 クラス優勝を果たした アストンマーティン Vantage GT3、日本へ

- アストンマーティン新型 Vantage GT3、富士スピードウェイで再び FIA 世界耐久選手権優勝を狙う
- D'station Racing、WEC 自己最高成績を記録した母国サーキットに帰還
- Heart of Racing、WEC 初勝利に続く連続優勝を目指す
- アストンマーティンは伝説的な日本のサーキットでの輝かしい成功物語の続きを描く



2024年9月11日、富士（日本）：

英国のウルトラ・ラグジュアリー・スポーツカー・ブランドであるアストンマーティンに Heart of Racing が FIA 世界耐久選手権（WEC）初優勝をもたらしてから2週間弱の今週末、新型アストンマーティン Vantage GT3 が富士6時間耐久レースで再び WEC に挑みます。

Heart of Racing は 10 日前、地元サーキット・オブ・ジ・アメリカズ (COTA) にて快走を見せ、ポールから先頭に立ち、途中 LMGT3 クラス最速ラップを記録しながら WEC 初優勝を果たしました。今度はアストンマーティン・レーシングのもう 1 つの WEC パートナーチームである D'station Racing が、まさに原点回帰となる母国サーキットで競います。同チームは、富士山麓にある富士スピードウェイからほんの数マイルの場所に本部を構えています。

チームオーナーは元 WEC レーサーの星野敏 (日本)、マネージャーは SUPER GT シリーズのクラス優勝経験者の藤井誠暢 (日本) が務める D'station Racing は、2022 年に富士で記録したクラス 3 位の WEC 自己最高成績更新を狙い、富士に臨みます。3 月にルサイルで開催されたカタル 1812km レースではこの記録に肩を並べる表彰台を獲得しています。

D'station Racing のドライバーの 1 人はアストンマーティンで最も多くの勝利を経験しているワークスドライバーのマルコ・ソーレンセン (デンマーク)。FIA WEC の GT クラスで 3 度チャンピオンに輝き、ロレックス 24 時間レースとル・マン 24 時間レースでもクラス優勝を収め、さらに先日のスパ 24 時間レースで同じくワークスドライバーのニッキ・ティーム (デンマーク)、マッティア・ドゥルディ (イタリア) と共に優勝も果たしています。777 号車 Vantage でソーレンセンと組むのは、フランスおよびヨーロッパ GT4 のタイトル獲得者エルワン・バスタード (フランス) です。

Heart of Racing にとっては、富士は LMGT3 クラスにおけるドライバーおよびチームのスタンディング 2 位を巡る戦いで差を縮める絶好の機会です。チーム代表兼ドライバーのイアン・ジェームス (英国)、アレックス・リベラス (スペイン)、ダニエル・マンチネリ (イタリア) が COTA で果たした画期的な優勝で、Heart of Racing は 2 位に 9 ポイント差、首位とは 37 ポイント差と迫っています。今週末に獲得可能なポイントは最大 26 ポイント (ポールポジション 1 ポイント、優勝 25 ポイント)、シーズン最終戦となるバーレーンではさらに 39 ポイントが獲得可能であり、2024 年シーズンの残りのラウンドを合わせると最大 65 ポイントの可能性のあることになります。

今年の Heart of Racing は、見事な初フルシーズン出場でこれまでに 2 位を 2 回と優勝を 1 回獲得し、27 号車 Vantage はほぼすべてのレースで優勝争いに絡み、7 回のレースのうち 5 回もポイントを獲得しています。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは、次のように述べています。「アストンマーティン Vantage GT3 は、前回の COTA で Heart of Racing のドライバーとチームが活躍してくれたおかげで、WEC のレースウィナーとなりました。ただ、私たちはまだレース参戦 1 年目の新型 Vantage にはさらなる可能性があるかと確信しており、レースごとにデータを蓄積し、そのたびに新たな知見を得ています。富士に出場するどちらのパートナーチームも、今週末再び表彰台獲得を狙える力を持っており、実力を本格的に発揮し始めたクルマで彼らが何を達成するのか、楽しみにしています。」

アストンマーティンの新しい GT3 チャレンジャーは、今年初めにシルバーストンで初公開された新型ロードカーの **Vantage** から多くを受け継いでおり、アストンマーティンの実績ある接着アルミシャシーを中心に組み立てられ、強力な **4.0 リッターV8 ツインターボエンジン** を動力源としています。**COTA** での優勝により、**Vantage** は **2024** 年に **9** つものマニュファクチャラーが競う新設 **LMGT3** クラスで **3** つ目の違う車両で優勝を果たしたことを意味します。

WEC 富士戦におけるアストンマーティンの実績には目覚ましいものがあります。過去の **3** つのコンフィギュレーション (**Vantage V8**、**V8 Vantage GTE**、**Vantage GTE**) のそれぞれで **GT** クラス優勝を果たし、これまでの **10** 回の出場で達成した **7** 回の優勝のうちダブルクラス優勝も **2** 回挙げています (**2013** 年と **2019/20** 年)。パートナーチームの直近 **3** 回の出場のうちの **2** 回は優勝を果たしています。すべてを合わせると、アストンマーティンのクルーが表彰台を獲得した回数は **16** 回に上り、**2012** 年のシリーズ開始以来、アストンマーティンが富士で表彰台を獲得していないのは **2** 回のみにとどまっています。

富士 **6** 時間耐久レースの公式練習は **9** 月 **13** 日 (金) の現地時間 **11:00** (英国標準時 **03:00**)、レースは **9** 月 **15** 日 (日) の現地時間 **11:00** (英国標準時 **03:00**) に開始されます。詳細は各シリーズの公式ウェブサイトと公式アプリでご確認ください。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-kevNRkYHFE>

アストンマーティン・ラグオンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって**1913**年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**DBS**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025**年から**2030**年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーと**SUV**のラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラグオンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で**50**以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはガイド

ンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp